

AI

リテラシー・ワークブック

自ら考え、判断する。

自分なりのAIとの「向き合い方」を築くための10のレッスン

2027年
3月下旬
発行予定

村山達哉
田園調布学園中等部・高等部
内山正登
慶應義塾中等部
緋田亮
慶應義塾女子高等学校
遠藤清将
宝仙学園中学校・高等学校

- 判型：B5判・カラー
- 頁数：32頁
- 定価：550円
(本体500円+税10%)
- ISBN：978-4-536-33829-5



AIとともに生きる社会の中で、どう向き合うのか。自分なりの考えを育てる10のレッスン。

社会・技術・倫理等の視点から、AIを多角的に捉えます。

- 悪用と誤情報
- 公平性と差別
- 個人情報とプライバシー
- 人間の尊厳
- アクセスと不平等
- 安全とセキュリティ
- 軍事利用
- 創造性と芸術
- 感情と共感
- 未来社会の展望

AIが引き起こす社会的事例から学ぶ

穴埋め・選択式でAIに関する基礎的用語も学べます。

自分ごととして考えをまとめ、深める

考えを徐々に深めていく構成で、小論文対策にも使えます。

Lesson 2 採用の未来 — AIは公平な選考を実現するか？

「公平なAI」は実現可能か？ テーマに基づいた想像的発想に、貴の考えを見せるのだから、AIによる判断と、私たちが目指す社会のあり方について考えてみよう。

以下の文章を読んで、空欄に当てはまる言葉を群から選んでみよう。

近年、新卒採用の現場でAIを活用する企業が増えています。ソフビビルやソフトバンクなどがその例として挙げられます。企業はAIによって、大量の応募書類の絞り込み（スクリーニング）や、面接における候補者の（ ）の効率化を図っています。しかし、AIによる評価のプロセスは（ ）化している部分もあり、その判断基準が明確でないという課題も指摘されています。

AIの判断における（ ）の問題も無視できません。過去には、Googleのフォトアプリが黒人をゴリラと（ ）する事件が発生し、AIに（ ）が学習されてしまう危険性が露見しました。実際に、Amazonは過去にAI採用を中止しました。

機械学習において、AIは大量のデータから（ ）を見つけ出すことで学習します。例えば「大」や「福」の候補データはAIにとって（ ）と認識されます。AIは、この候補データに基づいて、新しい単語が次を（ ）します。しかし、学習データに偏りがあると、推論結果にも偏りが生じてしまいます。私たち人間も、（ ）を持っているため、AIの開発や運用においても注意が必要です。自分自身の当たり前を疑うことは難しく、それがAIの判断に影響を与える可能性があります。AI採用の導入は、効率化などのメリットがある一方で、（ ）や（ ）といった重要な課題についても深く考える必要があります。

群

ブロックボックス、偏り、Google、教師データ（正解データ）、公平性、透明性、誤認識、評価、中止、推論、パターン（規則性）、無意識の偏り（アンコンシャスバイアス）

Q1 新卒採用にAIを活用している企業が今増えています。あなたが調べたニュース記事を参考に、企業がAIを採用する主な理由と、現時点で考えられる課題をそれぞれ1つずつ挙げてください。

理由

課題

Q2 もしあなたが企業の採用選考を受ける際、書類選考や面接の一部でAIによって評価されるとしたら、どのように感じますか？ 賛成、反対、どちらとも思えない、のいずれかの立場を選び、その理由を具体的に説明してください。

[賛成 反対 どちらとも思えない]

Q3 企業は、AIによって応募者のどのような情報を評価していると考えられるでしょうか？ また、AIによる評価が「ブラックボックス化」しているとは、具体的にどのような状態を指すと考えられますか？

Q4 AIが、人間の持つ無意識の偏り（アンコンシャスバイアス）を反映した判断をしてしまうのは、どのような理由が考えられますか？ また、AIの判断における偏りの問題に対して、AIの開発者や利用者はどのような工夫・対応をすればよいでしょうか？

さらに考えてみよう

自分自身が感動したり、感銘を感じたりするのは、どういったとき…？

こんな授業・場面で使えます

- 学校で生成AIを活用する準備
- 情報Ⅰ・情報Ⅱの導入／発展
- 総合的な探究学習
- キャリア教育 など

※紙面は現在制作中のサンプルになります。供給時に変更になる可能性があります。本資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則り、配布を許可されているものです。

お問い合わせは、小社ホームページ「お問い合わせフォーム」よりお願いいたします。

心が動く、その先へ。
日本文教出版

2026年3月作成 CD3333110040

日文的Webサイト

日文



日本文教出版株式会社
〒558-0041 大阪市住吉区南住吉 4-7-5
TEL：06-6692-1261